



第6号 ～ほっとな心 ほっとする気持ち～
 【発行】”ほっと三丘”コミュニティ協議会(広報委員会)
 【編集】三丘徳修館

TEL 92-0177

2009. 09. 01号

島津市長・青木総合支所長のご臨席並びに多数の来場者の中、8月2日に「安田の糸あやつり人形芝居」と「安田夢太鼓」共演による、和霊大明神奉納公演が行われました。

日頃から積み重ねた稽古の成果を出し、盛況のうちに幕を閉じました。



山口県指定無形民俗文化財

安田の糸あやつり人形と三丘三和会について

安田地区に江戸時代、文化・天保年間に藍染商人が住み着き、商いの傍ら人形を手作りして、浄瑠璃を土地の人々に伝えたのが始まり。

糸あやつり人形浄瑠璃芝居は、この地独特の民俗芸能として伝承され、毎年8月初旬に、安田、森河内の円通院境内にある和霊大明神に奉納されています。

一人が人形一体を五本の糸であやつる素朴な芸ですが、全国で生き残りは僅かとなり、貴重な存在となりました。

会名(三和)は、浄瑠璃、三味線、人形遣い、の三者、つまり全員の息が合って、一つの芸

毎年8月7日に行われる「和霊大明神御祭礼」

灼熱の8月の太陽が、西の山の端に沈み、あたりが暮れなずみ涼風が吹き始める頃、安田、円通院の和霊大明神の御巡行は始まります。

太鼓を先頭に提灯、子供たるみこし、そして神輿と総勢3, 40人程度であろうか。森河内、迫、安田を回る御巡行です。

この祭りは、明治17年時の住職霊澤大亀和尚が四国宇和島から勧請したと、その由来記に記されています。

悪病退散、五穀豊穡のほか家内安全、学業成就、交通安全を祈願します。

わずか2時間ばかりの小さな祭りだが、奉賛会の人々の御苦勞と地元の方々の思いが伝わります。

いつまでも伝承してほしい祭りの一つです。

上記の「和霊大明神奉納のあやつり人形」も、元々、この祭りの日に、円通院で上演されていたものです。



御巡行に使われる神輿

校区子ども会から



1日目 夕食準備
(焼肉)

7月24日(金)から2泊3日で予定していた子ども会の「教育キャンプ」は、梅雨空の中、1泊2日に変更し、三丘徳修館周辺で行いました。当日は、雨にも負けず、屋外テントでの野外炊飯や屋内でのゲームなどを行いました。参加された子どもたちは、夏休みが始まったばかりで、夏の思い出づくりに楽しいひと時を過ごしました。

2日目 班に分かれて
ペタンクゲーム



第31回三丘地区支部対抗ソフトバレーボール大会
8月23日開催

三丘スポーツ振興会主催のソフトバレーボール大会を三丘小学校体育館において開催しました。各チーム勝ち負けにかかわらず、女性たちのハッスルプレーとチームワークで初戦から白熱したゲームで盛り上がりました。



大会の様子は、Kビジョンの「タウンウィークリー」で放映予定です。
8月31日(月)～9月6日(日)

10:00から 又は 深夜0:30から

優勝 3支部チーム、準優勝 4支部チーム

～9・10月の行事予定～

- ①9月 5日(土) 熊毛北高校 運動会
- ②9月13日(日) 敬老会(主催:三丘地区社会福祉協議会)、熊毛中学校 体育祭
- ③9月19日(土) 三丘小学校 運動会
- ④9月26日(土) ふるさと歴史講座「幕末青年の志 ～萩博物館 一坂太郎先生～」
(主催:徳修館顕彰保存会)